

勸学かんがく

陶とう

潜せん

盛年せいねん重かさねて来きたらず一日いちじつ再ふたたび晨あしたなら難がたし

時ときにおんでま当まさにべん勉れい励すべし歳さい月げつはひと人を待まちたず

【作者】陶淵明(とうえんめい)(三六五〜四二七年) 東晋の詩人。潯陽(じんよう)「江西省九江市(きゅうこうし)」に生まれる。

名は陶潜(とうせん)、字を淵明・元亮(げんりよう)。唐以前の代表的詩人で、世に田園詩人といわれ、酒を好み詩中酒あり。六十四歳にて没す。靖節(せいせつ)先生と諡(おくりな)される。

【語釈】*盛年…血気さかんな年頃 壮年 *勉勵…つとめはげむこと・充実した時間を過ごすようにすること。

【通釈】若い元気な年は、再びこないし、一日のうちの朝は、二度とこない。それ故、学ぶべき時によくつとめ励んで充分勉強しておかなければならない。歲月は人を待つものではないからいつの間にか、すぎ去ってしまうのである。

【参考】雑詩(十二首の一)